

『地域医療新時代！
在宅医療から高度先進医療まで
～新潟魚沼の挑戦～』

地域医療研究会 全国大会2017 in 魚沼

2017.9/16(土)17(日)18(祝) 会場：南魚沼市民会館

～新潟魚沼の地で地域医療の物語りを語り合おう～

申込受付

2017年 5月15日(月)
～8月10日(木)

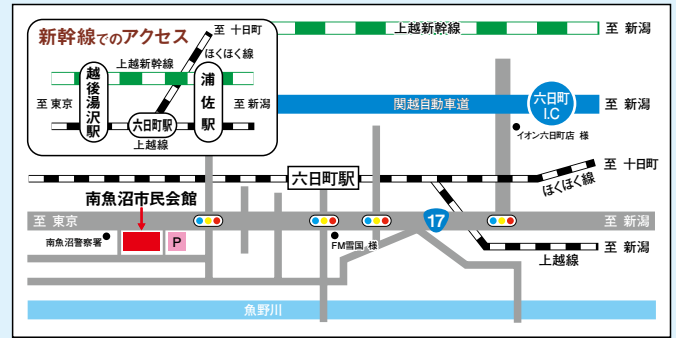
大会参加費	事前申込	当日申込
医師・歯科医師	10,000円	11,000円
医療・介護・福祉職等	3,000円	4,000円
行政・企業等	3,000円	4,000円
学生・一般市民	1,000円	2,000円
懇親会参加費	6,000円(9/17)	
昼食并当代	1,000円(9/17)	

一般公開講演等(9/18)のみの参加 無料

大会事務局 南魚沼市民病院

地域医療研究会 全国大会 2017 in 魚沼

2017.9/ 16(土) 17(日) 18(祝)



「地域医療研究会全国大会2017in魚沼」は、2015年に行われた大阪大会のメインテーマ「少子高齢化社会における地域医療・地域包括ケアとは」を受けて、「地域医療新時代！在宅医療から高度先進医療まで～新潟魚沼の挑戦」を提言する。

地域包括ケアシステムは、連携から統合と言われているが、統合するにはシステムの縦軸を設定して横軸（連携）を改めて見直す必要があり、大小様々な地域の“物語”の総体の組み立て・組み直しを連携から統合と考えたい。

魚沼地域の第一の物語は、日本で最も医師の少ない雪深い山間地区の医療が、明治維新、敗戦の大きな節目を越え、戦後は1976年の大和病院建設を機に、公立病院のリニューアル、民間病院の新設、併せて特別養護老人ホームなど福祉の躍進があったことである。

第二の物語は、2015年6月魚沼基幹病院（併設 新潟大学地域医療教育センター）の開設、新市立病院（3院）の建設（移転新築）の地域完結型医療システムづくりまでの10年である。

第三の物語は魚沼地区にも在宅医療にこだわる複数の診療所が生まれ、なかには「こども園」の指定管理も担い、それらが新システムを支える土壌づくりになったことである。

幸いなことに「地域包括ケアシステム」は文字通り「地域づくり」であり、医療や介護の役割も大きい。したがって、魚沼地域にこだわることは、必ずその経験が全国の同志に共有されるものと信じたい。

また越後（魚沼）は食材の豊かな土地であり、米（地酒）・雑穀、多彩な野菜は言うに及ばず、日本一とも言うべき山菜、きのこ、木の芽、木の実、川魚、海魚、山の動物などがある。ユネスコ世界文化遺産認定の「和の食」は、発想も越後の伝統食と類似している。

本大会では地域文化の縦軸として、縄文・越後・和の食をランチョンレクチャーで提供する予定であり、現在の乱れる食生活の将来への指針になることを期待したい。

南魚沼市では会場の制約があるため、2泊3日の日程をとらせていただいた。参加者全員がひとつの会場で地域医療の物語を語り合いたい。

大会長 黒岩 卓夫（医療法人社団 萌気会 理事長）

9月16日(土) [南魚沼市民会館]

[大ホール]

12:30～	受付開始
13:30	開会式 挨拶 研究会代表世話人 松本 文六（社会医療法人財団天心堂 会長） 大会実行委員長 大西 康史（南魚沼市民病院 副院長） 祝辞 新潟県知事 米山 隆一 南魚沼市長 林 茂男 新潟県医師会長 渡部 透
14:00	大会長講演 「地域づくりと医療の役割～魚沼だって変わるんだ～」 座長 和田 忠志（医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部長） 演者 黒岩 卓夫（医療法人社団萌気会 理事長）
15:10	基調講演 「地域ケアが進むべき途 ～包括(integration)から包摂(inclusion)へ～」 座長 松本 文六（社会医療法人財団天心堂 会長） 演者 猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科 教授）
16:25	対談 松本 文六（社会医療法人財団天心堂 会長） 猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科 教授）
17:00	

9月17日(日)

〔南魚沼市民会館〕

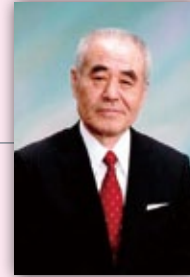
	[大ホール]	[多目的ホール]
8:50	<p>メインシンポジウム1 「医療再編は地域医療をどう変えたか」 座長 山崎 理 (新潟県福祉保健部 副部長) 亀井 克典 (医療法人生寿会 理事長) 指定発言・助言 迫井 正深 (厚生労働省保険局 医療課長・ 医政局 前地域医療計画課長)</p> <p>シンポジスト 渡辺 仁 (佐久医療センター 院長) 内山 聖 (魚沼基幹病院 病院長) 上村 伯人 (上村医院 院長) 清水 聡 (京都南病院グループ 理事長)</p>	<p>シンポジウム2 「病院と在宅をつなぐ ～誰もが自宅へ帰れる地域へ」 座長 安藤 親男 (茅野市国保診療所リバーサイド クリニック 所長) 駒形チヅ子 (ゆきぐに大和病院地域医療 連携室 前看護師長) 指定発言 和田 忠志 (いらはら診療所 在宅医療 部長)</p> <p>シンポジスト 奥野 滋子 (湘南中央病院 在宅・緩和ケア部門長) 池田 幸恵 (魚沼基幹病院 患者サポートセンター センター長代理) 金井 秀樹 (うおぬま調剤グループ 代表) 五味紀美子 (茅野市訪問看護ステーション りんどう管理者)</p>
10:50 11:00		<p>教育講演1 「地域リハビリテーションと在宅医療」 座長 三村 健 (新潟訪問リハビリネットワーク 代表) 講師 藤井 博之 (日本福祉大学社会福祉学部 教授)</p>
11:50		
12:00	<p>ランチョンレクチャー 「越後の伝統食から『和の食』へ ～縄文食文化を語る～」 座長 青野 広明 (NPO法人六日町観光協会 事務局長) 講師 宮尾 亨 (新潟県立歴史博物館学芸課 専門研究員)</p>	昼食会場
13:10		
13:10	<p>メインシンポジウム2 「我がまちの地域包括ケアシステム」 座長 北澤 彰浩 (佐久総合病院 診療部長) 黒岩 巖志 (萌気園浦佐診療所 院長) シンポジスト 野尻 真 (岐阜県白川病院 理事長) 布施 克也 (魚沼市立小出病院 院長) 高野 雅子 (名古屋市医師会 昭和区在宅医療・ 介護連携支援センター 相談員) 佐藤 尚子 (埼玉県北葛北部医師会 在宅医療 連携拠点“菜のはな”看護師) 指定発言・助言 藤木 則夫 (佐渡市副市長、元北海道・厚生局長)</p>	<p>シンポジウム3 「未来の地域医療を担う医師を語ろう！」 座長 吉嶺 文俊 (新潟県立十日町病院 院長) シンポジスト 石山 貴章 (魚沼基幹病院 総合診療科部長) 奥野 正孝 (三重県地域医療研修センター センター長) 村田 健 (埼玉石心会病院 総合内科副部長) 川井 洋輔 (新潟県立十日町病院 初期臨床研修医)</p>
15:30		
15:35	<p>シンポジウム1 「災害と地域医療」 座長 長 純一 (石巻市立病院開成仮診療所 所長) シンポジスト 内藤万砂文 (長岡赤十字病院 医療社会事業部長) 高山 義浩 (沖縄県立中部病院 地域ケア科医長)</p>	<p>教育講演2 「こどもたちの輝く未来のために ～発達障がい児との30年の関りから」 座長 提島 英雄 (医真会グループ安中診療所 部長) 講師 東條 恵 (医療法人社団こども輝き 発達クリニックぱすてる 院長)</p>
16:35		
16:40		<p>教育講演3 「老老という恵み」 座長 今井 重信 (湘南中央病院 理事長) 講師 大井 玄 (東京大学医学部 名誉教授)</p>
17:35		
17:40 17:55	地域医療研究会 総会	
18:30～	大懇親会	

9月18日(月)

〔南魚沼市民会館〕

〔大ホール〕

9:00	市民向け 公開シンポジウム 「障がい者を真ん中に置く様々な取り組み ～当事者研究、ふれジョブ、地域に貢献する支援学校～」 座長 黒岩 秩子 (社会福祉法人桐鈴会 理事長) シンポジスト 横尾 浩 (南魚沼市立総合支援学校 校長) 西 幸代 (ふれジョブ 創始者) 鈴木 智子 (社会福祉法人桐鈴会 工房とんとん 管理者)
10:30	市民向け 公開講演会 「いのちのバトンタッチ」 座長：鎌田 實 (医師・作家) 演者：青木 新門 (作家)
11:45	鼎談 「幸せな看取りを考える～在宅医療の時代」 鎌田 實 青木 新門 黒岩 卓夫
12:20	閉会式 次回大会のご案内 大会総括 兼 閉会の辞 大会副実行委員長 黒岩 巖志 (萌気園浦佐診療所 院長)
12:30～	



青木 新門 氏

映画「おくりびと」
の原典、「納棺夫
日記」著者



鎌田 實 氏

諏訪中央病院名誉
院長、「がんばら
ない」著者

地域医療研究会 入会のご案内

こんにちは、そして、ようこそ、地域医療研究会へ。

地域医療研究会は、全国のそれぞれの地域で医療・保健・福祉を実践している医療機関やその職員及び医療人、市民により構成された、ゆるやかな結びつきを持ったネットワーク型の会です。

それぞれの地域で、「患者のために」「地域住民のために」「老人や弱者のために」…を地域の状況に応じそれぞれ独自の展開を実践してきた共通コンセプトから、地域住民を主体にした生活に根ざした医療・保健・福祉の提供と連携を目指すという熱き想いを抱き集めています。

1980年に発足した当時の目的は、地域医療の経験交流と地域医療を担う若手医師の確保と養成でした。現在、会員は全国に広がり、各々の地域で地域医療を実践しています。

21世紀を迎えた今、あるべき地域医療を求め共通の想いを抱いて活動している団体との共生を模索するためのネットワークにまで広がっています。

会の趣旨にご賛同いただける方々のご入会をお待ち申し上げます。

入会を希望される方は、地域医療研究会事務局かホームページを通してお申込みください。

なお、大会当日につきましても、ご入会の受付を行っております。

年会費

団体

1口 20,000円

個人

1口 3,000円

地域医療研究会事務局

〒466-0807 愛知県名古屋市昭和区山花町50番地

医療法人生寿会 かわな病院内 担当：石塚

TEL：052-759-5535 FAX：052-759-5537

E-mail:jimukyoku@chiiken.jp

地域医療研究会HP <http://chiiken.jp/>

〈全国大会に関するお問い合わせ〉

大会事務局

南魚沼市民病院

〒949-6680

新潟県南魚沼市六日町2643番地1

TEL：025-772-3003

FAX：025-788-1231

E-mail:chiikenuonuma@yukigunihp.jp

共催：南魚沼市 他

後援：厚生労働省、日本医師会、新潟県、
日本プライマリ・ケア連合学会 他

お申込は、専用ホームページから

地域医療研究会 全国大会

検索

魚沼大会ホームページ

<http://chiiken-uonuma2017.geo.jp/>

魚沼大会フェイスブック

<http://www.facebook.com/chiikenuonuma2017/>